

環境にやさしいキャンドルづくりに挑戦！



廃油＝“使った後の油”を使って、環境にやさしいエコキャンドルをつくります！

廃油はご家庭で実際に使った油を利用してみてください。

火(熱湯)を使いますので、必ずおうちの人といっしょに作業をしましょう。やけどをしないように注意してください。

用意するもの

●廃油 100ml

お料理で1～2回ほど使用したもの。
カスやゴミが入っている場合はこしてください。



●油かため剂

小さじ1杯(5ml)

※当館では「油固めテンブル」を使用しています



●アロマオイル

※100円ショップでも買えます



●糸セット 1つ

※割りばしを割らずにタコ糸を挟んだものです。容器に乗せたとき、長くて不安定であれば割りばしを半分に切ってください。



●細かくくだいたクレヨン 小さじ1杯弱

※色付け用です。
溶けやすくするため、好きな色のクレヨンのカッターで削って、細かくします



●耐熱容器

廃油を温める時に使います。
写真のような、100円ショップで売っているドリンクボトルで問題ありません。
※耐熱かどうか確かめてください



●お鍋

廃油を温めるとき(湯せん)に使います。



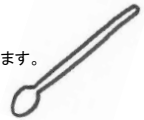
●ミトンや軍手

お鍋から耐熱容器を取り出すときに使います。
すべりにくいものにしてください。



●混ぜ棒

クレヨンを溶かすときに使います。
割りばしなどでも可。



●容器(火を付けても燃えない素材のもの)

キャンドルの容器になるので、ガラス瓶がおすすです。
こちら100円ショップでおしゃれなデザインのものがたくさん売ってます♪



●温度計

あると便利ですが、用意できなくてもOK！



チャレンジ！

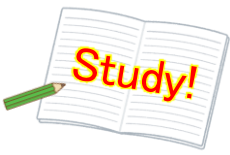
色を重ねると、カラフルキャンドルができます！

一色目のキャンドルが固まったら、その上に違う色のキャンドルを流し入れよう！

少し時間がかかりますが、とってもきれいなキャンドルができますよ♪

もしかしたら、虹色キャンドルができるかも・・・！？





「廃油」はどうしたらいい？



“廃油”（はいゆ）とは使った後の油のことを言います。

料理で使った油はどのように処理をすれば良いでしょうか。

キッチンからそのまま流したりしてないですか？

油はあたたかいところではどろどろの液体状ですが、冷たいところでは固まるという性質があります。

キッチンから流れた油は、下水道管の中で冷えてかたまり、詰まったり悪臭の原因になります。また、砂やほこりなどの汚れが混ざって“オイルボール”というかたまりができてしまいます。このオイルボールは、大雨が降ると、はがれて海や川を汚してしまうこともあります。



▲キッチンから流れた油で詰まった下水道管

私たちが毎日快適に暮らして、川や海をきれいに保つためにも、お皿やフライパンについた油汚れは、洗う前に不要な布や古新聞などでふき取るようにしましょう！



▲オイルボール

ふき取る

しよつ ちやく
食器や鍋についた油汚れは
ふき取って燃えるごみとして
捨ててください。



吸い取る

のこ
残った油は紙などに吸い
取ったり、油処理剤で
かた
固めて捨ててください。



使い切る

いた
てんぷら油は炒め物など
に使うだけ使い
切りましょう！



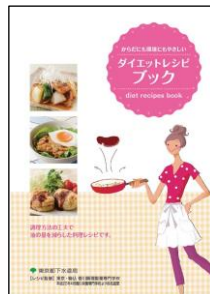
これが大切だよ！



また、油の処理だけでなく、料理の方法を工夫して油の量を減らすことができれば、からだにも環境にも優しいということで誕生したのが、この“ダイエットレシピ”です。

東京都下水道局のホームページにて様々なレシピを公開中です。

ぜひ、挑戦してみてください♪



▲ダイエットレシピブック



▲QRコード

「廃油エコキャンドル」のつくりかた

注意

火や熱湯を使うときは必ずおうちの人と一緒にこないしましょう。やけどに十分注意してください。

- ①キャンドルにしたい器の上に、糸セットを置いておく。
※糸が器の真ん中になるように

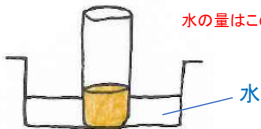


- ②廃油(100ml)を耐熱容器に入れる。



- ③お鍋の中にお水を入れ、廃油が入った耐熱容器ごと入れて火をつけましょう。(湯せんをする)
※湯せん用の水の量に注意！
※湯せん中は軍手などははめて容器をおさえてください。容器から出る蒸気は高温です！

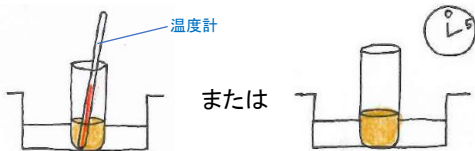
横から見た様子



水の量はこのくらい！

- ④廃油を80℃まで温めます。
温度計がある人は廃油の中に温度計を入れて80℃になるまで待ちます。

温度計がない人は、目安として沸騰してから約5分程あたためるとおよそ80℃になります。



- ⑤廃油が80℃になったら、耐熱容器をゆっくりお鍋から取り出して、油かため剤を入れましょう
とっても熱いので注意！



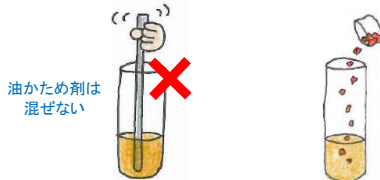
- ⑥油かため剤が完全に溶けたら、“細かくくだいたクレヨン”を一色入れましょう。
こちらは混ぜ棒でまぜて、溶かしてください。

※油かため剤は、スプーンで混ぜずに、耐熱容器をお湯につけながら軽く振ると溶けやすいです。

※油かため剤が十分に溶けていないと、うまく固まりません。

※クレヨンは、底に溜まりやすいです。よく混ぜてください。

多少は残っていても問題ありません。

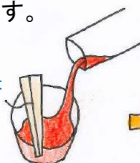


- ⑦ビンに入っているアロマオイルを少しずつ入れて、好みの香りにする。



- ⑧①で糸セットを置いた器に流し入れましょう。
まだ、熱を持っているので注意してください。
流し入れたあとは、糸セットが真ん中になるように調整します。

流し入れるときは
ずらしてOK



上から見た様子



真ん中にもどす

- ⑨固まるまで待つ(15分くらい)
固まりにくい場合は冷やすと早くかたまります。

- ⑩固まったら、糸セットを外し、糸をカットします。
糸を外すとき、キャンドルから抜けないように注意！
※写真のように、割りばしを広げながらゆっくりと抜いてください

※糸は、キャンドルから1センチ出るくらいがちょうどいい長さです



できあがり！！

